

おはよ

兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
高教組内 Tel:078-341-6745

2018年4月号

ご挨拶

新年度、皆さんの職場ではどんなスタートがきられましたか？

組合にはさっそくいろいろな相談や訴えが寄せられています。まず異動・赴任問題。1時間半を越える長距離通勤の解消に向けて、交渉にさらに力を入れないといけないようです。次に職員配置、この春は特に妊娠の負担軽減措置*について、権利をきちっと保障させるために一つひとつの事例に丁寧に対応しました。そして相変わらず「教室が足りない、特別教室の取り合いで時間割調整が大変！」という、過大・過密問題があちこちの学校で噴出しています。私たちのストレスや苦労は山積みだし、何よりもこんな環境に追いやられている子どもたちが可愛そうです。

障害があるからこそ子どもたちが豊かな教育が受けられるように、教職員の生活と権利を守って教育に情熱を注げるように、今年度も障教組は着実に運動を進めていきます。どうか1年間、応援よろしくをお願いします。

2018年度役員紹介

委員長：市位葉子（いなみ野） 副委員長：吉池次男（和田山） 中西園枝（いなみ野）

書記長：佐和良一（芦屋）

書記次長：辻村堅治（姫路聴覚） 西口 愛（神戸） 出田絢子（姫路） 中村美香（芦屋） 尾崎元（こやの里）

知ってますか？

***妊娠負担軽減の制度

補助教員＝特別支援学校の先生は産休前の1ヶ月＋1ヶ月取れます***

年休の理由欄→年休には理由を書く必要はありません

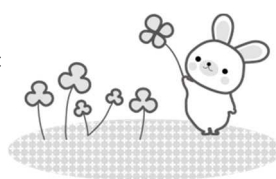
くわしくは分会役員まで

辛口

新学習指導要領 批評

（3月 全県分会代表者会議学習資料より）

学習指導要領のそもそもの目的は、全国どこでも（ほぼ）同じ水準の学習が保障されるために、基準となる内容を示したものです。たとえば「自立活動」では求められる6領域が示されていますが、そのうち「人間関係の形成」という領域が加わったように、時代に合った内容になるように、定期的に中央教育審議会で見直しが行われています。特に知的の特別支援学校は合科統合された学習形態が多いので、その元になる教科の基準が示されているので、視点を整理するのに助かることもあります。しかし、今回の改訂内容には疑問を抱かざるを得ないところも多くあります。（次ページ）



疑問ギモン・・・？

各教科の目標を見ると、「～ができること」のオンパレードです。たとえばサッカーでも仲間とのプレーを思いっきり楽しむ中でいつの間にか技ができるようになったという経験はありませんか？「楽しむ」は立派な教育目標なのです。また偏食指導など「できる」だけを早急に追い求めて、かえってこだわりを強めてしまう事例もあります。目標達成を焦らない、できるようになってほしいからこそ、そこまでの過程を大事にたどっていきましょう。

新設された特別な教科「道徳」にはやっぱり違和感があります。最近のテレビでも、「一元的な価値観の押し付けや評価に、子どもも担任も苦しんでいる」と疑問符をつけて報道していました。幼稚園段階の目標に、「良いことと悪いことのけじめ」という文言がありましたが、作成に関わった文科省自体の「文書改ざん問題」や官僚のセクハラ事件などを考えると、子どもに道徳心を押し付けている現実は悲しくなります。これは苦笑では済みません。

私たちがめざす教育、それは教育基本法にある「人格の完成」です。子どもの人権を守り、学ぶ喜びを引き出し、発達を全面的に保障する。良い実践を1年間、仲間と共に創造したいですね。学習会も計画しています。また一緒に勉強しましょう。

講師の先生必見！ 採用試験対策講座の案内 詳しくは高教組HP検索

4月22日（日）障教組スタートアップ講座1回め 終了しました

5月6日（日）採用をめざす学習会 講義（午後1時半から 中央労働センター）

5月19日（土）採用をめざす学習会 集団面接練習（午後1時半 神戸市勤労会館）

6月16日（土）障教組スタートアップ講座2回め ご予定ください